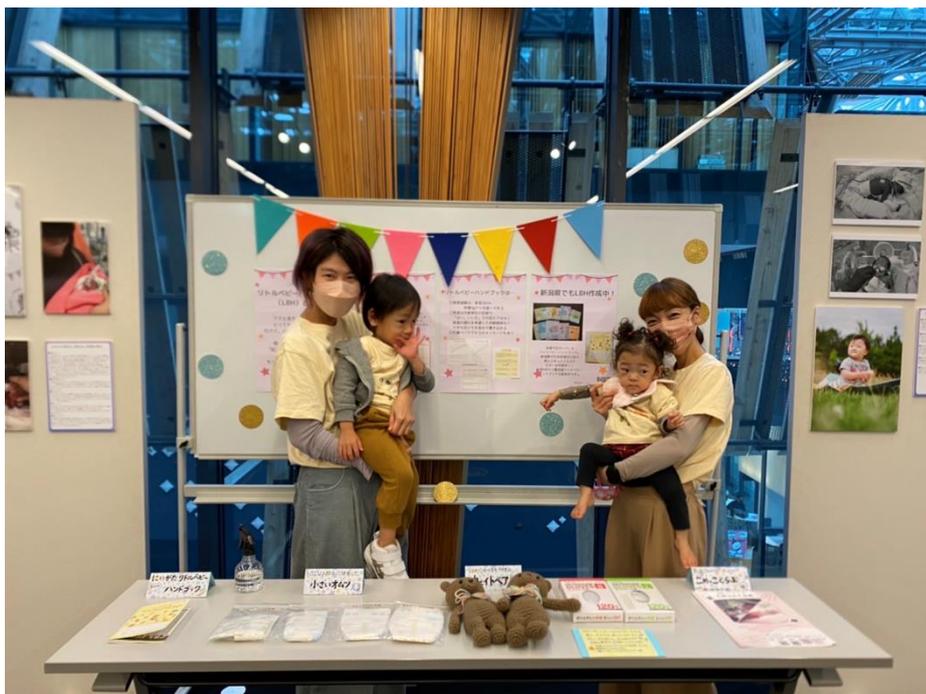


【活動報告書】

新潟リトルベビーサークル こめっこくらぶ

代表：松浦 あかね 倉嶋 里歩



1.2022年7月~2023年5月(主な活動)

・毎月2回 オンライン交流会

→ZOOMにて昼の部、夜の部各2時間程度各回参加者3~10名

・2ヶ月に1回

新潟県庁とのリトルベビーハンドブック作成打ち合わせ

→ZOOMまたは新潟県庁にてサークル代表松浦、倉嶋と県庁担当者

・7月 世界早産児デー写真展に向けた写真撮影会

→新潟市、長岡市それぞれ親子10組ほど参加

→新潟市の撮影会にて、新潟テレビ21の取材を受ける

新潟日報より取材を受け、特集記事が掲載される

読売新聞より取材を受け、特集記事が掲載される

- ・ 11月 世界早産児デー写真展
→アオーレ長岡 来場者 205 名
→新潟テレビ 21 より取材を受け、特集が放送される
- ・ 12月 世界早産児デー写真展
→新潟県民会館 来場者約 360 名
→新潟総合テレビより取材を受け、特集が放送される
- ・ 2023年3月 にいがたりトルベビーハンドブック完成
→新潟テレビ 21、新潟総合テレビより取材を受ける
→新潟テレビ 21 にて、特集が放送される
- ・ 2023年4月 にいがたりトルベビーハンドブック配布開始
→新潟総合テレビにて、特集が放送される
→朝日新聞にて、特集記事が掲載される

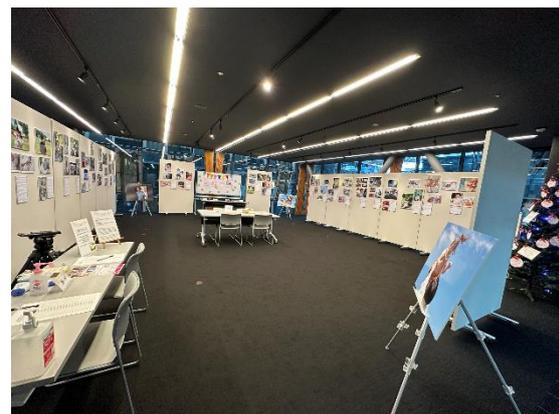
2.世界早産児デー写真展の報告

1)開催日時・場所

2022年11月4日～11月6日 アオーレ長岡

2022年12月17日～12月22日 新潟県民会館

→それぞれ新潟市の子育て交流ぽーと tete 様との共同開催



2)展示内容

- ・新潟県内の早産児・低出生体重児の親子 24 組の写真パネル (各 3～4 枚)
- ・暫定版にいがたりトルベビーハンドブック
- ・NICU 入院中のリトルベビーが使用する小さなオムツ
- ・松浦、倉嶋の子の出生体重 (570g、586g) で作られたウェイトベア
→ディスプレイ手袋を装着しての抱っこ体験も実施
- ・写真展に写真提供されたリトルベビーのご家族からのメッセージを
クリスマスツリーに装飾したメッセージツリー
- ・リトルベビーハンドブックについての説明

3)来場者数

アオーレ長岡 205 名

新潟県民会館 360 名



4)来場者の感想

- ・感動しました。小さく生まれても生きようとする力を感じました。お母様が葛藤を乗り越えていく道筋、周囲の方々の温かいお気持ちを感じ胸がいっぱいになりました。
- ・本当に感動しました。妊娠、出産、当たり前のことのようにですがそうではなく奇跡なんだと思います。またこのようなイベントをして欲しいです。
- ・うちの子も早産でした。一般的な母子手帳、健康診断の時に他の子とは成長過程が合わずに悩んだことも多かったけど、その2倍、3倍・・・うれしかったことを写真を見て思い出しました。このような企画をしてくださりありがとうございました。
- ・ウェイトベアを持ってみて、「意外と重いな。」と思いました。小さく生まれた自分もこんな風だったのかなと思いました。
- ・赤ちゃんの生きる力、生きようとする姿、素晴らしい。お母さんの気持ちに寄り添える支援者になりたい。
- ・自分も早産で産んで、とても不安でいっぱいでしたが、写真展に来て赤ちゃん達が大きくなっている姿を見て嬉しくなりました。その時のことを思い出して涙が出てしまいました。今でも不安に思うことはたくさんあるけれど、小さく生まれてもみんな元気に育っている姿に勇気もらいました。

5)所感

こめっこくらぶを立ち上げた時、サークルの活動として必ずやりたい、と思っていたことの1つがこの写真展でした。サークルを立ち上げてから初めての写真展でしたが、こめっこくらぶのメンバー、teteの会員様、そしてSNSでも写真展示の協力を募り、多くのリトルベビーとそこご家族の写真が集まりました。

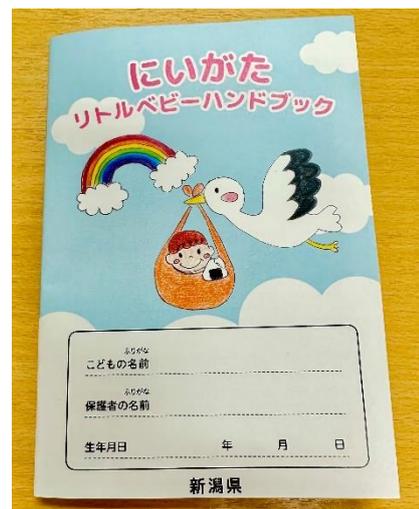
当日は多くのリトルベビーとそこご家族、大きく成長されたリトルベビーのみなさん、医療従事者の方々、一般の方、ととても多くの方が来場して下さり、涙を流しながら観覧される方もいたり、直接来場者の方とお話することもできたり、わたしたちにとってもとても有意義な写真展となりました。

また、写真展を開催するにあたり、会場準備や当日の受付スタッフなど、NICUの看護師の方々や、リトルベビーを出産しすでにそのお子さんが成人されたご家族の方など、多くの方がボランティアとして手伝って下さり、お世話になったNICUの看護師さんや先輩ママさんとお話することができてとてもうれしかったです。

今後も、写真展は毎年開催していきたいと考えております。

3. にいがたりトルベビーハンドブックについて

- ・2021年12月 新潟県庁にて
新潟県版リトルベビーハンドブックの作成について要望。
- ・2022年2月 新潟県版リトルベビーハンドブック導入の方針決定
- ・2022年6月 静岡県版をベースとした
暫定版「にいがたりトルベビーハンドブック」配布開始
その後2か月に1回県庁との打ち合わせ
- ・2023年4月 新潟県版リトルベビーハンドブック
「にいがたりトルベビーハンドブック」
新潟県内の各NICU、各母子保健窓口にて配布開始。



皆様のあたたかいご支援、本当にありがとうございました。わたしたちの活動が、1人でも多くのリトルベビーとそのご家族に支えになれたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。